

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	各種文化団体活動支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	戸部 孝彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内文化団体	意図	団体が文化活動しやすい環境づくりを支援し、活動の拡大普及を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化協会加盟団体の活動支援策として、文化協会及びその発表の場である文化祭に補助金交付し、活動に側面的に支援している。 社会教育関係団体登録の受付、更新手続き。 登録団体等の情報提供。 			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度から事業として位置付け			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	社会関係団体登録数	150	148	129	団体	↑↑↑	
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 昨年度までは社会教育関係団体登録は、150団体前後で推移していたが、平成26年度は減少し129団体であった。			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		358,900	349,350	345,463				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		358,900	349,350	345,463				
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	社会教育団体等の活動PRを支援するため、まなびの森や市ホームページに各種団体活動を掲載する。	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体の後継者不足。 市民に対する各種芸術・文化団体の情報提供のあり方。
②今年度(H26)に実施した取り組み	まなびの森や市ホームページに各種社会教育団体の活動を掲載し、活動支援を行った。	④今後の改善計画	民間助成金の申請方法の普及等を図り財源確保を促したい。また、市ホームページを活用した情報提供の充実を図る。